

NPO法人IFE 通常総会 要旨

議長：石田泰久

本日平成19年4月15日、ここ新宿多文化共生プラザでNPO法人IFEの通常総会を開会致します。

開会に伴いまして、NPO法人IFE会員総数30名、出席者10名、委任状が20人預っております。定款第26条「総会の定足数」を満たしておりますので、この総会が成立します事を報告致します。[全員承認](#)

さて、紹介が遅くなりましたが、私はNPO法人IFEの石田泰久でございます。宜しくお願い致します。本日の通常総会の進行、議長役と致しまして、僭越ながら私が勤めさせていただきたいと存じますが、承認いただけますでしょうか？[全員承認](#)

次に、議事録署名人につきまして、理事の山道昌幸と会員の山瀬靖弘を私より推薦させていただきますが、皆様、承認頂けますでしょうか？[全員承認](#)

まずはNPO法人IFE代表理事である定國和より皆様にご挨拶をさせて頂きたいと存じますが、残念ながら事情により本日は欠席させて頂いておりますので、理事の山道昌幸がご挨拶申し上げます。なお、代表理事よりも、委任状を預っております。

理事：山道昌幸

ただ今ご紹介に預りましたNPO法人IFE理事の山道昌幸でございます。宜しくお願い致します。

ゾマホンとは7年前、私が20歳の学生の時に知り合いましたから、縁があってこのような活動をさせて頂いております。

NPO法人IFEは皆様のおかげをもちまして、昨年度も意義ある活動をさせて頂きました。本日は、その報告、及び、今年度の活動予定などを皆様にお伝えしたいと存じます。

議長：石田泰久

NPO法人IFEの経理を担当しております私、石田から、NPO法人IFEの平成18年度の財政状態、経営成績等につきまして説明させていただきます。

以下、プロジェクター、レジユメを使用して説明。添付資料参照
[全員承認](#)

次に平成18年度の活動報告をさせていただきます。

以下、プロジェクター、レジユメを使用して説明。添付資料参照
[全員承認](#)

次に平成19年度の予算案を発表致します。

なお、NPO法人IFEは会員様よりの会員費、講演会費、寄付金等により活動しておりますが、今年度も貪欲に会員数、講演回数などを多く獲得していきたいと存じますので、ここで示しておりますのは、目標値であることをここで確認させていただきます。

以下、プロジェクター、レジユメを使用して説明。添付資料参照

全員承認

次に平成19年度の活動予定を発表致します。

まず最初に、NPO法人IFEと致しましては、本年度は、日本国内に於いて「アフリカから学ぼうセミナー」を開催し、私共を含め、日本の皆様に、アフリカ諸国の状況について学んで頂くことを軸に活動していく方針です。それは、来年に開催される第4回アフリカ開発会議を念頭に置いております。留学生は4名を目標にして招致致します。講演会活動も行います。現地では、継続的な日本語教育を行い、日本語教師も7月に2名派遣予定です。

全員承認

次に、NPO法人IFEは、この総会におきまして、定款の改定をしたいと思いますので、皆様の承認を宜しくお願い致します。

以下、プロジェクター、レジユメを使用して説明。

全員承認

さて、通常総会と致しまして、皆様に承認頂く案件は全て承認頂きました。

最後に、NPO法人IFEは今まで日本とベナンの架け橋となるべく活動して参りましたが、実は、厚く高い壁が多々ございました。その度に、日本とベナンの間に広がる問題点の多さに気付かされました。

ここで理事の山道昌幸より皆様に、日本とベナンの間に広がる問題点につきまして問題提起し、皆様にもご理解いただければと存じます。

理事：山道昌幸

- ・日本人が持ち続ける「アフリカ」への偏見について
- ・日本 アフリカへの一方通行の交流について
- ・日本からアフリカ諸国への物質的、金銭的援助の落とし穴について
- ・HIV問題の本質について
- ・先進諸国優位のグローバル化の弊害について
- ・外交のあり方 ~ 中国と日本の外交姿勢を比較して ~
- ・ベナンからの留学生が突き当たる「ビザ」という壁

以下、プロジェクター、レジユメを使用して説明。添付資料参照

議長：石田泰久

これで17時をもちまして、平成19年度通常総会を閉会致します。

皆様、NPO法人IFEは、今年度も貪欲に活動していきたいと存じます。皆様の忌憚無いご意見を申し上げますと同時に、引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。